



## 宮崎県立 赤江まつばら支援学校



青空に向かって伸びる松の  
若芽は校訓の「のぞみ高く」  
を、太い線は「粘り強く」を  
象徴しています。

所在地 〒880-0911 宮崎市大字田吉 4977-371  
電話番号 0985-56-0655  
FAX番号 0985-56-0656  
ホームページ <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/9934/>

### 校 訓

のぞみ高く ねばり強く 誇りを胸に チャレンジャーであれ



高等部の生徒が制作し  
た紹介動画です。

## 1 赤江まつばら支援学校の特徴

### (1) 幼稚部から高等部まで設置されている病弱特別支援学校

本校は、昭和51年に創立し、慢性疾患や身体虚弱のために病院で診断を受け、入院あるいは通院治療をしている幼児児童生徒を対象としています。幼稚園・小学校・中学校・高等学校に準ずる教育を行う教育課程と複数の障がいに応じた重複障がい学級できめ細かな指導や教育を行う教育課程があります。

### (2) 病気の治療をしながら学べる学校

病院で治療を受けながら、自宅から通学している幼児児童生徒がいます。また、自宅が遠い児童生徒のための寄宿舎も学校の敷地内にあります。（令和4年度は、寄宿舎対象児童生徒がいないため、休舎になっています）。平成29年度からは、隣接する独立行政法人国立病院機構宮崎東病院の「子どもの心の診療センター」に入院している児童生徒も対象となり、病院から通学しています。さらに、令和元年度からは、「子どもの心の診療センター」に入院し登校が難しい小・中学部の児童生徒への訪問教育が始まりました。

病状が回復し安定すれば、退院して地域の学校に戻ります。

### (3) 個性を尊重した教育活動を展開

幼児児童生徒の実態に応じて様々な授業を行っています。少人数の中で一人一人に応じた教育内容や方法を工夫しています。松林に囲まれた自然豊かな環境の中での体験学習も盛んです。特に高等部では、進学や就職を希望する生徒一人一人のニーズに合わせ、必要な学習環境を準備したり、キャリア教育実習等を実施したりしています。また、地域の小学校・中学校・高等学校と交流及び共同学習を行っています。

### (4) 教育相談を常時開設

一人一人の本校入学に関する悩みに応じて、教育相談をしています。学校見学の希望がある場合はお問い合わせください。高等部卒業生の過去数年間の進路先を（3 高等部卒業後の主な進路）に掲載しています。なお、本校高等部に入学を希望する場合は、9月から12月の間に、受検に関する事前の教育相談を必ずお申し込みください。

## 2 在籍者数（令和4年度5月1日現在）

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	計
本校	0	6	3	12	21
訪問		0	0		0
計	0	6	3	12	21

## 3 高等部卒業後の主な進路

進路	進路先
進学	福岡大学(R1)、宮崎国際大学(H23)、南九州短期大学、宮崎看護専門学校、宮崎県立産業技術専門学校（建築設備科）、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（果樹茶業研究部門）など
就職	公務員（西都市役所）、サクラプリンテック、タイヨーグランド、タマホーム、ジオテック、川南病院、勝田被服、ANAホリデーインリゾート宮崎、宮崎銀行、日本剣道具製作所、ヒューネル都城支社、ハッピーもも、GMOドリームウェブ株式会社、株式会社JSHコルディアアーレ農園 など
施設・作業所	向陽の里、アートステーションどんこや、サニースマイル、ウイングル宮崎センター、デイサービスセンターあゆみ、うからの里高鍋事業所、清水台通所センター、THSRaCo o、宮崎リハビリテーションセンター、CADセンター、さくらさくら、桃net、はばたき福祉作業所、ひまわり、Grow-up松橋、あかつき、チャレンジキャンパスくうねる遊ぶ など
在宅・医療継続	在宅、施設入居待機者、デイサービス利用、自宅療養 など

## 4 本校の様々な活動の様子



### 〔修学旅行〕

昨年度、中学部は日南・綾方面、高等部は青島、綾方面に修学旅行に行きました。



### 〔学習活動〕

本校では、ICTを活用した学習を行っています。各教室をつないでのオンライン学習も行っています。



## 5 本校からのメッセージ

病気などで地域の学校に通学ができない幼児児童生徒のためにある学校です。学校では、治療しながら学び、病気のため学習できなかった部分を取り戻せるように工夫しています。相談したいことや気になることなど何かありましたら、遠慮なく御連絡ください。